

2025 年 8 月 27 日

株式会社 A C S L

**A C S L、米国子会社 ACSL, Inc.が新型スマートコントローラー「TAITEN」を発表
SOTEN 用高画素赤外線カメラ「SAMO」の機能アップグレード及び
「Thermal by FLIR®」プログラムへの正式参画についても同時発表**

- ACSL, Inc.は、NDAA 準拠の新型スマートコントローラー「TAITEN」の発売、SOTEN 用高画素赤外線カメラ「SAMO」の機能アップグレード、「Thermal by FLIR®」プログラムへの正式参画を発表
- 米国市場のニーズに応えるための製品開発に取り組み、米国での販売及び市場開拓をさらに加速

株式会社 A C S L（本社：東京都江戸川区、代表取締役 Co-CEO：早川研介・代表取締役 Co-CEO：寺山昇志、以下、A C S L）の米国子会社である ACSL, Inc.は、現地時間 2025 年 8 月 26 日、NDAA（National Defense Authorization Act）準拠の新型スマートコントローラー「TAITEN」の発売、SOTEN 用高画素赤外線カメラ「SAMO」の機能アップグレード、及び Teledyne FLIR LLC（本社：オレゴン州、CEO：Edwin Roks）の「Thermal by FLIR®」プログラムへの正式参画を発表しましたので、お知らせいたします。



新型スマートコントローラー「TAITEN」

■NDAA 準拠新型スマートコントローラー「TAITEN」

TAITEN は、公共安全機関や産業点検等の現場での運用を念頭に設計された新型スマートコントローラーです。1500 ニットの明るさを誇る 7 インチの高解像度ディスプレイを内蔵し、IP54 規格の耐候性、HDMI 出力、カスタマイズ可能なファンクションボタン、SOTEN との完全互換性等の特徴を備えています。現場のオペレーターのニーズに応えるために設計されており、優れた視認性、耐久性、操作性を提供します。米国の販売代理店ネットワークを通じて 9 月より販売開始を予定しております。



「TAITEN」

■「Thermal by FLIR®」プログラムへの参画

ACSL, Inc.の「Thermal by FLIR®」プログラムへの参画は、米国市場へのさらなる進出を示す重要なマイルストーンです。このプログラムは、Teledyne FLIR LLC の OEM 事業部門である Teledyne FLIR OEM によって開発され、Teledyne FLIR のサーマルカメラモジュールを使用する OEM（相手先商標製品の製造会社）企業が、製品の製造工程で FLIR のモジュールをシームレスに統合できるよう、Teledyne FLIR OEM が支援し、新技術の市場投入を共同でサポートするものです。両社は、ACSL のドローンと FLIR の最新サーマルカメラモジュール及び Prism ISP 技術を統合した次世代ソリューションの共同開発に取り組んでいます。

■SOTEN 用高画素赤外線カメラ「SAMO」のアップグレード

米国市場向けに開発された NDAA 準拠の高画素赤外線カメラ SAMO は、ITAR（国際武器取引規制）非該当の Teledyne FLIR OEM 製 Hadron™ 640R カメラモジュールを搭載し、64MP の可視カメラと 640 × 512 の Boson®放射型熱画像カメラを組み合わせています。今回のアップグレードでは 20 倍ズーム機能が追加され、また、今年中に FLIR との協業により MSX®（マルチスペクトルダイナミックイメージング）技術に対応予定です。MSX®技術は、可視カメラの鮮明な輪郭情報と赤外線画像を融合して画像を補正することで、運用時により高い状況把握を可能にする技術です。



MSX®（マルチスペクトルダイナミックイメージング）技術イメージ



SOTEN 用高画素赤外線カメラ「SAMO」

Teledyne FLIR OEM Vice President of Product Management Mike Walters コメント

ACSL が FLIR プログラムに加わることは非常に楽しみです。当プログラムは、開発から展開までのプロセスを加速し、ACSL の SAMO のような高度な熱画像機能をより迅速に現場のオペレーターの手に届けることができます。今後のドローン技術革新において、ACSL との協業を楽しみにしています。

ACSL, Inc. CEO Cynthia Huang コメント

TAITEN の発売、SAMO のアップグレード、そして Thermal by FLIR®プログラムへの正式参画は、ACSL にとって大きな節目であり、用途特化型ドローンソリューションの進化への当社のコミットメントを明確に示しています。FLIR は熱画像技術における専門知識とセキュリティへの共通の関心を持っており、ACSL のドローンシステムの導入が市場で加速する中で、彼らは非常に重要なパートナーとなっています。

なお、ACSL, Inc.は、2025 年 9 月 2～4 日にラスベガスで開催される「Commercial UAV Expo 2025」に昨年に引き続き出展し、この度発表した新型スマートコントローラー「TAITEN」、小型空撮機「SOTEN（蒼天）」、SOTEN 用高画素赤外線カメラ「SAMO」等を展示予定です。

ACSL グループは、今後も、米国市場での販売及び市場開拓をさらに加速してまいります。

■ACSL, Inc.について

- ・ 名称：ACSL, Inc.
- ・ 所在地：710 Lakeway Drive, Suite 200, Sunnyvale, CA 94085
- ・ 代表者：President Cynthia Huang
- ・ 事業内容：A C S L の産業用ドローンの米国市場での販売等
- ・ 株主：株式会社A C S L 100%
- ・ WEB サイト：<https://acsl-usa.com/>

【株式会社A C S Lについて】 <https://www.acsl.co.jp/>

A C S L は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

【このニュースリリースへのメディアからのお問い合わせ】

株式会社A C S L 広報担当（Tel：03-6456-0931 Email：pr@acsl.co.jp）

以 上